

## 令和5年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和5年5月23日（火）18時30分～20時45分		
開催場所	今市まちづくりセンター	参加人数	12
出席議員	三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子	議長	○
テーマ別に 出た意見	<p>【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶文化の継承の機会提供が少ない <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽など引き継げなくなっている。守っていききたい。</li> <li>・保護者世代にも伝わっていないので、さらに子供には難しい。神楽は比較的受け入れられているが、田ばやしなどは厳しい。</li> </ul> </li> <li>▶団体活動が難しくなっている <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体スポーツができない。</li> <li>・文化活動はスポーツよりも難しい。理科教室などがあると嬉しい。理数離れ対策にもなるのでは。</li> <li>・コロナ明けのサポートが難しい。</li> </ul> </li> <li>▶まちセンに関係構築を期待したい <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の頃を思い出すと公民館活動に参加していた。</li> <li>・保護者の取り込みが課題。連鎖的に巻き込む。</li> <li>・物事を教えてもらう機会があると嬉しい。</li> </ul> </li> <li>▶子供たちが忙しい <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業への参加が難しい＝関わりが少ないからどこの子どもか分からない＝地域のおじさん、おばさんに関われない。</li> </ul> </li> <li>▶子供会のこと（存在だけでなくそもそもの目的）を知らない保護者が多い <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡先が分からないので一軒一軒情報伝達する必要がある。</li> <li>・個人情報取得・管理が難しい。学校は子供会に関与しないので。</li> </ul> </li> <li>▶団地の方々へのコンタクトが取りづらい <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造上、声がかげづらい。</li> <li>・まとめて暮らしているエリアの人たちとの関係構築は地域の課題。民生委員に相談してくれたら協力できる部分ある。</li> </ul> </li> </ul>		

- ・文化活動はスポーツよりも難しい。理科教室などがある  
と嬉しい。理数離れ対策にもなるのでは。
- 20年くらい前はあった。出会い・経験を経て子供に選  
択を。
- ▶子供だけ、高齢者だけの集まりが多い
- ・混ぜて実施したら良いのでは。同居している人も少なくな  
っているのが原因？一緒にいたら昔の話も聞くことができ  
る。
- サトラボの狙いはまさにそこ。
- 食などテーマ設定すれば幅広い世代が集まれるのでは。
- 都川、市木、木田など小学生がいない地域は活動が難し  
い。
- 今市は子供が多い。スケッチ会などで出向くと見守りなど  
してくれる。意図的に機会をつくらないと。昔は、隣の家  
がもちつきしていると声かけたりしていた。
- 大人側から関係構築の余白を示すことが必要。
- まちセンが学校とのコーディネーターしている。できるだ  
けたくさんの人に接点作ろうとしている。顔見知りの関係  
をどんどん広げることが大事。

**【福祉環境】健康について**

○サロンについて

- ・高齢者が高齢者を世話する状況なので、サポーターが必要。  
また、サロンのメニューにも苦勞をされていて、外部講師を  
呼ぶための申請手続き等も大変。
- ・5年後、10年後のサロン活動がどうなるか心配。
- ・サロン参加者が少なくなっている。参加者を増やすにはど  
うしたらいいか。
- ・サロン会場に行くための移動手段がない。(免許返納等で)
- ・地域のサロン活動の予算。

○良い取組として

- ・サロン地区内3か所のお世話している方たちの「お世話さ  
ん会議」をしたり、あいのりタクシーを活用して、参加者交

流会を行った。

- ・今後、若い世代との交流も含め、食や暮らし・文化の伝達もおこなってみたい。

○運動について

- ・コロナで様々な制約もあり、運動不足になっている。
- ・運動を促すための適度なおせっかいも大事では。

○良い取組として

- ・毎週 1 回、百歳体操を行っているサロンでは、月 1 回、食事と一緒にされている。
- ・浜田弁の百歳体操はとても良い。

○社会参加について

- ・コロナによって交流活動もできなくなり、高齢者たちと子どもたちの接点があったが、一度しなくなってしまうと再開が難しくなった。(止めるのは簡単だが、再開は大変)
- ・集うことが健康づくりになるので、社会参加のできる場づくりが必要。住民や行政がその場づくりを意図的に仕掛けることが大事だと思う。

○食について

- ・塩分の摂りすぎ。
- ・若者の食生活に対する意識付けが必要。食改さんとの接点も若い人は少ない。
- ・計算された食事を体験することもいいのでは。(給食の試食など)

○その他

- ・健康な内はその価値に気付かない
- ・体の健康だけでなく、心の健康も心配

	<p>【産業建設】 農業・林業・漁業の問題点と希望について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猪などによる有害鳥獣被害も深刻である。</li> <li>・オオサンショウウオの外来種がアユ、ウナギなどを食い荒らす（八戸川）ため駆除してもらいたい。</li> <li>・林業振興が十分とは言えないように思う。森林組合の職員数も十分ではない。山林を整備することにより人里へ猪やクマなども減るかもしれない、林業に力を入れてほしい。</li> <li>・農業従事者の高齢化と担い手不足が深刻。加えて有害鳥獣被害により地域は疲弊している。解決策として集落営農組織を立ち上げるための支援が必要。</li> </ul>
	<p>【回答したもの】 ※回答概要も記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川上である旧那賀郡に多くの住人がいきいきと暮らされることにより、上流から栄養分豊かなきれいな水が下流の日本海へと流れ込む。それにより川下の水産浜田が再生される。」とのことだが旭の八戸川は江津に流れ込むので残念ながら浜田の海には流れない。</li> </ul> <p>⇒海には市域はないのですから、旭の山の栄養分はきっと浜田港に水揚げされる海産物に大きな恵みをもたらしていると思っています。そんな寂しいことを言わないでください。（沖田）</p>
<p>自由意見</p>	<p>【持ち帰るもの】</p> <p>【総務文教】 自由意見</p> <p>三浦担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶あいのりタクシーが使いやすいといい</li> <li>・利用しづらい・・・好きな時に出かけられない。</li> </ul> <p>→好きな時に出かけられない。曜日・時間が決まっているから。タクシー補助は費用がかかりすぎて現実的ではない。</p> <p>→みんなが使いやすい仕組みが必要。</p> <p>→あいのりタクシー補助は一律？申請？</p> <p>→利用上限額の撤廃、高速バスで利用できるようになったのは嬉しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶旭→浜田のバスがいっぱい（今年は多い）</li> <li>・補助席利用しなくてはいけない。</li> </ul>

柳楽担当【課題】

- ・各種団体の役員のなり手不足によって、解散の危機にまでつながっている。
- ・人口減少によって経営が成り立たなくなっていて、公共交通、金融機関、商店などが無くなるなど、生活基盤が減少してきている。（この先支所もなくなるのかな）
- ・運転できなくなった時の移動手段が心配。
- ・コロナによって様々な事業ができなくなっていて、人間関係が希薄になっている。
- ・文化と暮らしの伝承が家族間でもできていない。
- ・若い人は物質的な豊かさを求め、都会に出る人も多い。ほかの豊かさを PR して若者の参加を促す仕掛けも必要。（幸せの物差しはひとつじゃない）
- ・自分ごとにできる仕掛けづくり。

【良い取組】

- ・行政連絡員の提案で、集落の LINE グループを作っている。安否確認や災害時の避難の手助けにもなる。

沖田担当

- ・通学路でも法定速度を守らない車が多い。
- ・自治会、まちづくり組織などの役員に若い人がなりにくく、高齢な方が役員を務めている状況。ITC 活用の仕方、スマホ教室などを行い、使いこなせるようになることで会議や連絡などの負担軽減を図ることが出来ると思うので運営を含む助成などを検討してもらいたい。
- ・旭町から JA の支店が撤退し更には ATM も故障が多くて、特に高齢者は困っている。
- ・交通手段が少ない。今後は免許返納者が増えていくので何らかの移動手段の確保を検討していただきたい。
- ・高齢化により草刈り作業の維持が困難。国府海岸などは市内全域の企業や団体がボランティア清掃などを行うが中山間地の保全のためにボランティアする団体はない。市民の中山間地（旧那賀郡）に対する無関心、温度差を感じる。

中山間地の保全にも目を向けて企業、団体がボランティアで環境整備など行う仕組みづくりができればよいと思う。

- ・米軍機の騒音問題を旭町の問題ではなく全市的な問題として捉え考えてほしい。

**【福祉環境】自由意見**

三浦担当

▶**資産管理ができない**

- ・山、空き家、土地などを国に返したい。

柳楽担当

- ・高齢者の2人暮らしで先が不安。緊急事態が起きたときに頼ることができるように、普段からの人間関係を作ることでも大事。(見守りなど)

**【産業建設】自由意見**

▶**集落営農の組織がない(5年後、10年後の農林業が不安)**

- ・機器購入補助も個人には出ない。
- ・次の世代で変わらないと農地保全が本当に難しい。
- ・担い手：専業農家は2件。両方15ヘクタール。

**【協働のまちづくり】**

- ・合併して10年以上が経過したがいまだに一体感が感じられないように思う。例えば地域の産品、農産物を各地域で行われているあさイチや産業祭などにお互いが出向いて売りに行くことでわだかまりなく民間レベルで交流が出来る仕組みを構築してほしい。行政が主導してもなかなか難しいと思うので民間人の代表である議員の皆さんに期待したい。